

日常目にする物事や出来事を「笑い」に変えた作品は、長くて5分、短いものは30秒。動画とは限らない。静止している画像も、テンポのいい音で違った世界をみせ、笑わせる。ありそうでなかった「ニヤリ」とさせるユーモア表現。客層は20~30代が中心だが、前駐レバノン大使天木直人氏とのライブでは幅広い客層が集まった。実はこれが狙い。閉塞しがちなパフォーマンスの場を広げていくために、「自分の作品プラスα」を心がけている。自分の作品だけではつながらないであろう世界(客層)と、どうつながるか。「あの天木

さんと組む人って?」と関心をもってもらう。

「ユーモアとは冗談のことではない。工夫のことだと思う。」天木氏に出演依頼するときにも、そのことを話したら、「なるほど、ユーモア・イコール・工夫ね」と意気投合。だからライブでは、あくまで加賀城さんの話したいことで進めた。2人の世代の違い、考え方の違いを引き出し、ぶつけて、観客に「ユーモア」を楽しんでもらった。

「scherzo(スケルツォ)」はグループ名ではない。「ブランドとしての意識があります」。もっというと「メディア」。メディアを学んだうえでの結論は、「自分でメディアをつくらう!」だった。電波にのせるのではなく、スクリーンから、ステージから、紙媒体から。今の世の中、チャンネルはいくらでもあるし、すぐに回せる。そんななか、敢えてスケルツォを選んで、ステージに足を運んでもらうのが、いい。スケルツォは、「出かけてみるチャンネル」である。

## 日常からユーモアを届けるメディアに

### ステージパフォーマー 加賀城 匡貴

- ◎1975年 札幌生まれ
- 1996年 星の降る里芦別ふるさとビデオ大賞を受賞
- 1998年 ビクター東京ビデオフェスティバルビデオケーション賞を受賞
- 1999年 渡英、英国芸術学校映画学科 (The Arts Institute at Bournemouth) に入学
- 2000年 帰国、映像とステージのパフォーマンス「scherzo(スケルツォ)」を開始

主な公演、作品:

[2003年]

- 春夏コレクション2003 札幌・京都・東京(公演)
- 札幌市長選挙非公式ポスター
- SALE 札幌(公演+テレビ公開収録)

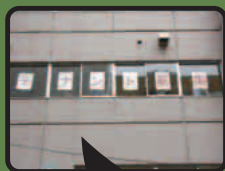
[2004年]

- featuring 天木直人(元レバノン大使) 札幌(公演+前駐レバノン大使講演)
- zenzaring for The Baker Brothers 札幌(公演+英ジャズバンド来日公演)
- 秋冬コレクション2004 東京・京都(公演)

[2005年]

- 全国公演2005「&キノ」 札幌・新潟・東京・京都・名古屋(公演+佐藤雅彦監督作品「kino」上映)

はっと驚くような、日常の小さなユーモア、クスクス笑いを誘う彼の作品を体験すると、しばらく自分の身の回りのことが好奇心に満ちて、楽しくなる。そしてちょっぴり、社会を感じたりするセンスが、はばたいていくことでしょう。(中島)

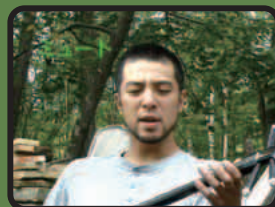


テナント

Stage Performer



マウンド



ミュート



延長コード

12

scherzo  
phone:090-6219-7626  
info@scherzosketch.com  
<http://www.scherzosketch.com>

